



2023年5月11日

各位

会社名株式会社 Amaz i a
代表者名 代表取締役社長 佐久間 亮輔
(コード番号: 4424 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 神津 光良
(TEL. 03-6427-8856)

**2023年9月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正
及び営業利益の計上（販売費及び一般管理費の減少）に関するお知らせ**

当社は、2022年11月10日に公表いたしました、2023年9月期第2四半期累計期間（2022年10月1日～2023年3月31日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じました。また、2023年9月期通期（2022年10月1日～2023年9月30日）の業績予想につきましても下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。また、2023年9月期第2四半期会計期間末（2023年3月31日）において、第6回新株予約権について権利不確定による失効数の見積りを変更したことに伴い、営業利益を計上（販売費及び一般管理費の減少）しておりますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年9月期第2四半期累計業績予想値と実績値との差異
(2022年10月1日～2023年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益(注) |
|-----------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 2,919 | 158 | 159 | 102 | 15.58 |
| 今回実績値 (B) | 2,498 | 56 | 53 | 59 | 9.11 |
| 増減額 (B - A) | △421 | △102 | △105 | △42 | |
| 増減率 (%) | △14.4% | △64.6% | △66.4% | △41.1% | |
| (ご参考) 前第2四半期実績 (2022年9月期第2四半期) | 3,419 | △7 | 4 | △4 | △0.70 |

2. 2023年9月期通期業績予想数値の修正
(2022年10月1日～2023年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益(注) |
|--------------------------|--------|--------|---------|--------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 5,800 | 230 | 230 | 145 | 21.94 |
| 今回修正予想 (B) | 4,820 | 0 | 0 | 21 | 3.26 |
| 増減額 (B - A) | △979 | △229 | △230 | △123 | |
| 増減率 (%) | △16.9% | △99.6% | △100.0% | △85.2% | |
| (ご参考) 前期実績 (2022年9月期) | 6,547 | 116 | 144 | 41 | 6.14 |

3. 修正の理由

(1) 業績予想と実績値との差異の理由

当社は、一定規模の MAU、売上高を維持しつつ、広告獲得効率を重視しながら、広告宣伝費を抑制してまいりましたが、広告市況の悪化により広告単価が低下したために広告収益が減少したこと及び世界経済の停滞や国内のインフレ等により、ユーザーの消費マインドが減退し、一人当たりの課金売上が低下していること等により、当初の業績予想を下回りました。

(2) 修正の理由

上述の厳しい市場環境が当面は続くものと想定し、広告単価の低下及び一人当たりの課金売上の低下を反映させるとともに、中長期での収益の拡大を目指した以下の3つの経営戦略による先行投資等を反映させるために、業績予想を修正することといたしました。

- ① 原価率の低いオリジナル作品、Webtoon 作品の売上比重を増加し、利益率の改善を図るとともに、動画リワード広告の対象作品の増加、及びアプリ内の広告枠の増加等により広告収益の増加を目指します。
- ② Webtoon を含むオリジナル作品の制作に注力しつつ、広告宣伝費も積極的に投下しながら、IP 展開による作品販売収益の獲得を目指します。
- ③ マンガアプリの海外展開の早期収益化に向けて、作品数の拡充、機能追加及び広告宣伝費の投下をより積極的に実施します。

なお、詳細につきましては、本日開示の「2023 年 9 月期 第 2 四半期 決算説明資料」を参照ください。

4. 営業利益の計上（販売費及び一般管理費の減少）について

当第 2 四半期会計期間末において、第 6 回新株予約権について新株予約権の行使条件を満たさない蓋然性が高くなったため、権利不確定による失効数の見積りを変更しております。見積り変更の結果、株式報酬費用の戻入（販売費及び一般管理費の減少）が発生したため、当第 2 四半期累計期間において営業利益を 95 百万円計上しております。

また、同日付「ストック・オプション（新株予約権）の自主放棄に関するお知らせ」に記載の通り、当該新株予約権は消滅するため、2023 年 9 月期通期業績へ与える今後の影響については、軽微であります。

（注）本資料に記載しました予想数値は、本資料発表日現在において、新型コロナウイルス感染症による経済への影響を含む入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

今後、業績予想に変更があった場合は速やかに公表いたします。

以上